

平成 19 年 6 月 11 日  
日本銀行盛岡事務所

## 岩 手 県 金 融 経 済 概 況

### 1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動向をみると、公共投資が前年を上回っているほか、住宅投資も前年を上回って推移している。この間、個人消費は横這い圏内で推移している。

こうした中、生産は増加を続けており、雇用情勢も振れを伴いながらも改善の方向にある。

### 2. 最終需要

#### (1) 個人消費

個人消費は、横這い圏内で推移している。

#### (大型小売店売上高)

百貨店の売上高は、主力の衣料品が引き続き低調なうえ、雑貨や食料品なども落ち込んでいるため、前年を下回って推移している。一方、スーパーの売上高については、衣料品は伸び悩んでいるが、食料品は惣菜等を中心に堅調に推移しており、全体としては持ち直し傾向を維持している。

#### (家電量販店売上高)

家電販売は、パソコンが伸び悩んでいるが、薄型テレビやゲーム機、高付加価値の白物家電などが堅調に推移している。

#### (乗用車新車登録台数)

乗用車新車登録台数（軽自動車を含む）は、軽自動車は前年を上回ったものの、全体では小型車を中心に前年を下回って推移している。

## (2) 公共投資

公共工事請負金額は、新年度入り後も大型工事の発注が継続していることから、前年を上回って推移している。

## (3) 住宅投資

新設住宅着工戸数は、分譲マンションの増加を中心に、前年を上回って推移している。

## (4) 設備投資

2007年度の設備投資計画(3月短観調査結果)をみると、製造業は前年度をやや上回る計画となっているが、非製造業は情報通信の大型投資一巡から、前年度をかなり下回る計画となっている。

## 3. 生産動向

生産は、増加を続けている。

### (電子部品類)

電子部品・デバイスでは、薄型テレビなどのデジタル家電や携帯電話向けを中心に高操業が続いている。

### (輸送用機械)

完成車については、新車種の生産が本格化する中で高操業が続いている。自動車部品も、完成車の輸出好調を背景に高水準の生産を続けている。

### (一般機械)

自動車関連向け工作機械の生産が好調なほか、各種機械部品も幅広い分野から注文が入り高操業を続けている。

### (食料品)

水産缶詰は、青魚製品を中心に好調な生産を続けている。一方、清涼飲料は、スポーツ飲料の伸び悩みもあって、減産傾向にある。

### (その他)

鉄鋼の線材は、自動車向けを中心にフル操業を続けている。窯業・土石は、公共工事の出荷が低調ながら、民間向けが堅調なことから、全体では横這いで推移している。

#### 4. 雇用・所得の動向

雇用情勢をみると、4月の有効求人倍率（季節調整値）は、0.77倍と前月比0.02ポイント上昇した。新規求人倍率（同上）も、1.18倍と2ヶ月連続して上昇した。

この間、雇用者所得は、一人当たり名目賃金が前年水準を下回って推移していることを主因に、前年割れの状態が続いている。

#### 5. 企業倒産

5月の企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数15件（前年同月比+88%）、負債総額2,086百万円（同49%）となった。

負債総額は比較的落ち着いているが、建設業を中心に小規模企業の倒産多発から、件数ベースでは平成14年7月以来約5年ぶりの高水準となった。

#### 6. 金融面の動向

預金動向をみると、個人預金は堅調に推移しているが、公金預金が大きく減少していることから、全体でも前年を下回っている。

一方、貸出動向をみると、個人向けは住宅ローンを中心に堅調に推移しているが、法人向けが総じて低調なうえ、地公体向けも一部に借入返済の動きがみられ、全体でも前年を下回っている。この間、貸出金利は、緩やかな上昇が続いている。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行盛岡事務所 TEL : 019-624-3622 (代) <a href="http://www3.boj.or.jp/morioka/">http://www3.boj.or.jp/morioka/</a>
--